

2019年度
野幌森クラブ
活動報告書
(第18回)



ビ記作の へ墜：ー 3.

(写真のカツラはカツラコースの通称 見返り坂J にそびえる本クラブのシンボル樹木)

代表世話人あいさつ（活動概要と経過）	1
I. 2019年度活動	3
1. 2019年度活動計画（表1）	3
2. 2019年度活動結果（表2）	4
3. 2019年度活動内容	5
1) 第1苗畑	5
① 標示木の冬囲い取り外し	
② 標示木の撤去	
2) 第2苗畑	6
第1苗畑の標示木据え置き	
3) 「のぼぼの森」	6
① 第1回樹種・樹高測定測定 越冬被害調査	
② 第2回樹種・樹高測定測定 越冬被害調査	
③ 第3回樹種・樹高測定測定 越冬被害調査	
植樹木の越冬被害調査（表3）	
④ 第1回下草刈り作業（中止）	
⑤ 第2回下草刈り作業（中止）	
野幌森林公園に出没したヒグマの移動経路（図1）	
⑥ 雑草繁茂状況の確認	
⑦ 第3回下草刈り作業（中止）	
⑧ 第4回下草刈り作業（中止）	
⑨ 植樹状況の確認	
⑩ 倒伏トドマツの移動作業	
4) 市民との交流イベント	11
① 春の森一周ウォーキング 特命担当相馬会員の所感	
② 秋の森一周ウォーキング 特命担当吉田会員の所感	
③ 2019年度きたネット通常総会・発表会 本クラブ活動概要紹介	
④ 2018年度活動報告会・公開セミナー	
5) 2019年度活動報告書編集会議	14
6) 2019年度忘年会	15
II. エコアップだより（例会議事録）	16
III. 添付資料	28
1. 野幌森クラブ会則	28
2. 野幌森クラブ活動拠点図	30
3. 「のぼぼの森」植樹位置図	31
4. 2020年度活動計画案（表4）	32
IV. 編集後記	

森は多くの生命を宿すことができる生態系の一つです。土壌の中の微生物に始まり、昆虫、爬虫類、両生類、哺乳類、鳥類等さまざまな動物、そして菌類、コケ類、さらに草花や樹木等の植物、などが大きな食物連鎖の中で生きています。多様な生物、多くの種・遺伝子に満ちています。このような森から、我々人間は非常に多くの、大きな恵みをうけています。

「野幌森クラブ」は「我々人間と森の生き物すべて」との良好な関係が「持続する共生の森の創出を」めざして、平成12年（2000年）以来、恵庭山系から国道36号線や国道274号線を横切り野幌原始林を経て連なっている緑の回廊の先端にある野幌森林公園において活動を続けております。

そのI番目は地域性種で満ちた原始性を感じる森を再生することです。台風で損傷を受けた森の再生の際には、地域性種の樹木・草本の成長と増加を手助けしてきました。森の地域性種のたねを拾い、苗木に育て、再生地に植えています。苗木が大きくなり、森となるまで、下草刈りや枝払いなどの作業を行い森の生成を助けています。II番目は森の住人である多様な生き物に適した環境を維持することに心がけています。そしてIII番目は森を利用する我々人間の問題です。他の人との連携や合意無しに、各人が気ままに利用しますと、約2200haとその大きさを誇る野幌の森の生命力（生態系）を徐々に傷つけ、ある日突然ある種が消えてしまうかもしれません。多様な森の生命を持続させるか、枯渇させるかは我々人間の日々の小さな心がけに依存しています。そのようなことにならないように野幌森クラブは、会員相互はもとより市民や他の団体などとの交流・協力・協働を通じ、多くの人々に野幌の森の大切さを知ってもらい、連携していきたいと考え、地域の人々（団体・組織を含む）との連携を強める活動を続けています。

近年、インターネットの普及により、一人の好奇心（功名心？）から出た野生生物情報が広く・迅速に地域外にも広まり、野幌周辺だけでなく本州はもちろん海外からも人々が森に立ち入るようになってきています。また、動物の生息（特に移動・営巣）に影響を及ぼす緑の回廊が周辺自治体の地域活性化・開発の名のもとに削られ、分断されています。このように人が自己本位で慎重な配慮なしに、短期的視点から町村知事以来保護に努めてきた野幌森林公園（野生生物の生育環境）を損なう（可能性がある）行為をしていることを慎むべきだと考えています。我々公園周辺に住む住民が森を一層理解し、連携して節度ある利用の模範を示すことが、必要になってきています。森への接し方、利用法について、いろいろな機会に多くの皆さんと意見交換を行い、森への理解が互いに深まり、「森との共生が持続」することを願っています。

野幌森クラブの活動内容は、近年、道の公園管理体制の変更や国の森林法・財務管理の変更による管理方針・体制の変更、再生活動の方針変更などを受けた北海道森林管理局石狩地域森林ふれあい推進センター（以下「ふれあいセンター」と略す）、石狩森林管理署（管理署と略す）、野幌森林公園自然ふれあい交流館（「交流館」と略す）の指導により変更を余儀なくされておりますが、森林活動にご理解のある団体・組織及び個人の方々のご指導とご支援・ご協力を得て、上記の目標を達成すべく活動を続けております。

2019年度（平成31年度）は、緑の回廊を通ってきたと考えられる熊の出現により、

森への立ち入り禁止指導（入林許可が得られない）が行われ、多くの野外活動（下草刈りや樹高測定・樹種同定作業の一部）が出来なくなってしまいました。さらに第1苗畑の活用や第2苗畑への関与、さらにはたねを拾って苗にする活動は、台風跡地の再生が進み新たな植林スペースがなくなったことから、これらの活動を終了することになりました。これからはすでに植樹した「のぼぼの森」の苗木の成長を見守り、観察する保育活動に注力します。

一方、人々との連携活動に関しては、環境活動情報ネットワークの一つである北海道市民活動ネットワーク（略称「きたネット」）総会でデビューをはたし、ネットワークを通じて、多くの会員に情報発信をおこないました。また例年のごとく「森一周ウォーキング」や「活動報告・公開セミナー」を行い森に関心を持つ多くの人との交流を深めました。

これからも「野幌森クラブ」は、会員個々の事情（体力・気力・時間など）に合わせて、楽しみつつ活動を行う「スロー・ボランティア」を続けていきたいと思っています。

「慌てず 4焦らず 諦めず」をモットーに活動を続けてまいりますので、関係各位の方々の一層のご理解とご支援・ご協力、そして多くの方々のご参加をお願い、お待ち申し上げます。

I. 2019 年度活動

1. 2019 年度活動計画 (表 1)

表 1. 2019 年度活動計画

		各種活動
4 月	下旬	4月例会 「のぼぼの森」樹種・樹木測定 「第1苗畑」標示木の冬囲い撤去
5 月	上旬 日	5月例会 「のぼぼの森」樹種・樹木測定 春の10km ウォーキング
6 月	下旬	6月例会 「のぼぼの森」下草刈り
7 月	中旬	7月例会 「のぼぼの森」枝払い・除伐
8 月	上旬	8月例会 「のぼぼの森」下草刈り
9 月	中旬	9月例会 「のぼぼの森」樹種・樹高調査
10 月	上旬 日	10月例会 「のぼぼの森」樹種・樹高調査 枝払い 秋の10km ウォーキング
11 月	上旬	11月例会 第1回活動報告書作成編集 「のぼぼの森」樹種・樹高調査 枝払い (予備日) 「第1苗畑」標板の冬囲い設置
12 月	中旬	12月例会 第2回活動報告書作成編集 忘年会
1 月	中旬	1月例会 第3回活動報告書作成編集
2 月	中旬	2月例会 第4回活動報告書作成編集
3 月	日	総会・3月例会 公開活動報告と公開セミナー (一般公募)

A:未確定の作業日は会員の参加状況と現地状況を勘案し、直近の例会で決定する。但し、作業開始時刻は9:00を原則とする。

B:例会前に諸活動を行う。

C:「のぼぼの森」の活動は新規協定内容 (2018 年度締結) に基づき実施する。

2. 2019年度活動結果（表2）

表2. 2019年度活動結果

		各種活動	
4 月	14日 (日)	「第1苗畑」標示木の冬囲い撤去	2名
	22日 (月)	「のぼぼの森」第1回樹高測定、越冬被害調査 4月例会	8名 7名
5 月	7日 (火)	「のぼぼの森」第2回樹高測定、越冬被害調査 5月例会	7名 5名
	9日 (木)	「のぼぼの森」第3回樹高測定、越冬被害調査	4名
	12日 (日)	春の10kmウォーキング 市民20名、会員6名	26名
6 月	17日 (月)	6月例会	5名
	22日 (土)	「のぼぼの森」下草刈り中止 ヒグマ出没 北ネット総会・発表会 尾縞代表活動紹介	2名
7 月	16日 (火)	7月例会 「のぼぼの森」下草刈り中止 ヒグマ停留	6名
8 月	10日 (土)	「のぼぼの森」雑草繁茂状況の確認	2名
	26日 (月)	8月例会 「のぼぼの森」下草刈り中止 ヒグマ再出没	6名
9 月	9日 (月)	9月例会 「のぼぼの森」下草刈り中止 入林不許可	5名
	17日 (依)	「のぼぼの森」状況調査	2名
10月	7日 (月)	10月例会 第1苗畑標示木搬出、のぼぼの森 倒伏 トマトツ処理 樹種・樹高調査延期	5名
	13日 (日)	秋の10kmウォーキング 市民10名、会員5名	15名
11月	12日 (火)	11月例会 第1回活動報告書作成編集 「のぼぼの森」樹種・樹高調査 中止	5名
12月	2日 (月)	12月例会第2回活動報告書作成編集 忘年会	9名 9名
1 月	21日 (月)	1月例会第3回活動報告書作成編集	5名
2 月	14日 (金)	令和元年度野幌森林再生活動連絡会	2名
	24日 (月)	2月例会第4回活動報告書作成編集	6名
3 月	16日 (日)	総会・3月例会 公開活動報告会と公開セミナー（一般公募）	中止

3. 2019年度活動概要

1) 第1苗畑

① 標示木冬囲い取り外し

4月14日(日)、晴れ、最高気温16℃、近くからエゾアカガエルの鳴き声が聞こえ、溜め水には産卵が見られた。まだ、標示木周囲に残雪はあったが、会員2名は覆いシートの取り外しを行った。



シート外しを行う宇尾(正)会員



標示木に圧雪損傷はありませんでした

② 標示木の撤去

10月7日(月)午前、会員5名はふれあいセンターから指示された第2苗畑に隣接する空き地に標示木を移動した。当日、宮崎会員が提供した軽トラック、アルミ製スライド板、ロープ、パールなどは搬出にたいへん役立った。感謝!



搬出作業前、標示木は見納め?



スライダを使って軽トラックに引き上げる



第1苗畑梓木前の撤去跡一抹の寂しさが

これをもって、第1苗畑の活動は終了し、ふれあい交流館に完全移管した。

2) 第2苗畑

10月7日（月）午前、会員5名は第1苗畑から第2苗畑に移動して、軽トラックで運ばれた様示木をふれあいセンターが指定する第2苗畑隣接地に降ろした。



雑草が繁茂する指定場所に据え置く

これをもって、第2苗畑の活動は終了した。なお、今後の第2苗畑管理はふれあい推進センターで行うことが9月20日に現岡本所長との面談で確認されている。

3) 「のぼぼの森」

本活動は石狩森林管理署との野幌森林公園再生事業に関する5年間の団体活動協定（2023.3まで）に基づいて行っている。

① 第1回樹高測定、越冬被害調査

4月22日は晴天・無風、久しぶりに清涼しい大気の下で9:20から2時間、会員8名が集合して昨年実施できなかった樹高測定と樹木越冬被害調査を行なった。開始前に山本特命担当から作業手順の説明があり、南側を3班に分かれて箱尺を使い、また一部は目測で実施した。越冬被害は野ウサギによる食害が顕著で、また雪圧による幹折れや枝折れ、枯死、樹木番号落下が多くみられた。



山本会員の作業手順を聞く会員



箱尺による実測のデモンストレーション

② 第2回樹高測定、越冬被害調査

今回も5月例会前9:20から会員7名が参加して「のぼぼの森」の樹高測定と樹木越冬被害調査を行なった。作業手順は前回と同様で、3班に分かれて南側と北側をそれぞれ測定・調査した。同日、午前7時前までの降雨で地面はぬかるみ、また作業途中、雨がポツポツ降ってきたが、中断することなく11:40まで行った。越冬被害は前回と同じく多数みられた。その中で、エゾシカとエゾタヌキの糞が初めて見つかった。今後、これらの動物が生活圏の一部として侵入すると思われる。なお、クマゲラの姿はみられないものの、独特のかん高い鳴き声に癒された。



作業手順を説明する山本会員



エゾシカによる剥皮害



野ウサギによる剥皮害



エゾシカの糞



エゾタヌキのため糞



可憐なヒトリシヅカ

③ 第3回樹高測定、越冬被害調査

好天に恵まれた5月9日（木）、2日前の作業で残した木々の樹高測定と越冬被害調査を会員4名が行った。南側は9：20 - 10：00まで98本、そして北側は10：25 - 11：20まで208本を終えた。

やはり、越冬被害として野ウサギ、エゾシカなどの食害が多数みられた。特に、エゾシカに樹皮を剥ぎ取られた若ハルニレの姿が痛ましかった。



作業開始前、未測定樹木は300本、頑張ろう！

表3. 2019年度「のぼぼの森」植樹木越冬被害調査（2019. 5. 9）

被害原因		北側	南側
食害	ウサギ	11	18
	シカ	3	6
	根元折れ	1	
雪害	枝折れ	11	37
	圧雪	4	
枯死		1	3
行方不明		15	32

46

96

合計：142

名札落下数 11枚（樹種は不明）

④ 第1回下草刈り作業

6月17日（月）、6月例会前の「のぼぼの森」下草刈り作業は4日前の13日午後、野幌森林公園と隣接する北海道情報大学キャンパスにエゾヒグマが出没したとの報道があり、またそれ以降もいくつかの目撃情報がなされ、今回は石狩森林管理署の入林注意喚起に応じて下草刈り作業を取り止めた。



大沢コースの注意喚起情報



ふれあい交流館玄関前でミーティング

森林公園付近クマ目撃影響続くNHK北海道のニュースで、本クラブのミーティングが放映された(2019. 6. 17)。

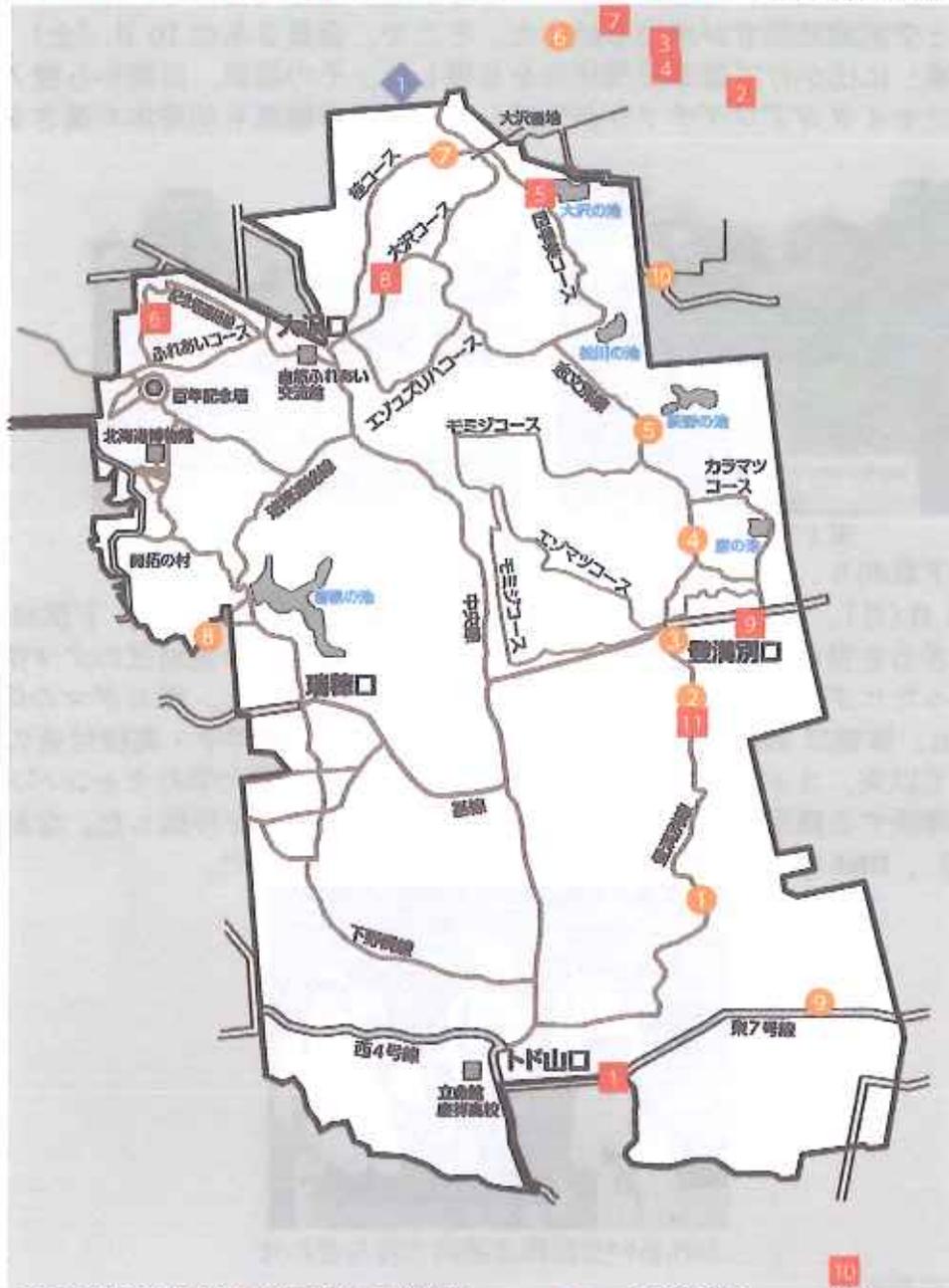
クマの目撃情報が相次ぐ野幌森林公園の周辺では、17日も江別市の小学校が休校するなど影響が続いています。連日、江別市、道警、文京台地区自治会などは登下校時にパトロールを行っているが・・・。

⑤ 第2回下草刈り作業

7月16日（火）、残念ながら、依然ヒグマが居座っているため、石狩森林管理局から中鎌の借用がかなわず、今回も下草刈り作業は中止した。さて、ヒグマの採食行動範囲と農作物および飼料用デントコーン被害が拡大し、もし牛舎に侵入したならば、射殺されるかもしれない。

野幌森林公園および周辺のヒグマ出没情報

2019.07.04 15:00 更新
北海道博物館（継続グループ）



■ 目撃	6月10日(月) 22:50頃	東7号線 (立命館中学校・高等学校付近)	● ファン	6月11日(火) 朝	豊清湖線
◆ 撮影	6月11日(火) 17:00頃	札幌学院大学東宇(札幌学院大学東宇のカメラによる)	● ファン	6月11日(火) 朝	豊清湖線
■ 目撃	6月13日(木) 17:50頃	江別市セラムックアートセンター付近	● ファン	6月11日(火) 朝	豊清湖線
■ 目撃	6月13日(木) 18:30頃	北海道情報大学敷地	● ファン	6月11日(火) 朝	豊清湖線
■ 目撃	6月13日(木) 18:45頃	北海道情報大学男子学生寮付近	● ファン	6月12日(水) 13:00頃	東文館前 (豊野の池付近)
■ 目撃	6月14日(金) 09:15頃	四葉湖コース (大沢の池付近)	● ファン	6月13日(水) 11:20頃	林木育種センター内
■ 目撃	6月15日(土) 07:15頃	総合考査場前 (緑っぽい茶色のヒグマ5匹を撮影を目撃)	● 新しいファン	6月19日(水) 08:30頃	豊コース (大沢湖地から200m)
■ 目撃	6月19日(水) 09:20頃	北海道情報大学国際文化センター付近	● 定跡	6月28日(金)	厚別区厚別町下野幌 (豊野の池下流)
■ 目撃	6月21日(金) 09:25	大沢コース (目撃・写真撮影)	● ファン	7月 2日(火) 豊清湖	東7号線沿いのハスカルプ公園
■ 目撃	6月25日(火) 07:45頃	豊清湖口付近	● ファン	7月 4日(木) 05:35頃	野幌総合運動公園南端駐車場ゲート前
■ 目撃	7月 1日(月) 19:15頃	北広島市北の道76-2付近			
■ 目撃	7月 3日(火) 14:10頃	豊清湖線 (豊清湖湖地から約600m)			

図1. 野幌森林公園に出没したヒグマの移動経路

⑥ 雑草繁茂状況の確認

8月初旬から野幌森林公園内のヒグマ目撃情報が途絶えた。それに伴って、ウォーカー数と交流館訪問者が増加し始めた。そこで、会員2名は10日(土)午前、のぼりの森Jに出かけて雑草繁茂状況を目視した。その結果、以前から侵入が確認されていたセイタカアワダチソウが繁茂し、その他の雑草も幼若木の高さを上回っていた。



東1号作業道と南側植林敷地に繁茂する雑草

⑦ 第3回下草刈り

8月26日(月)、今回も石狩森林管理局から中鎌の借用ができず、下草刈り作業は中止せざるを得なかった。9月5日正午頃、北広島市西の里地区のクマ捕獲用箱わなに入ったヒグマが見つかり、同市のハンターが射殺した。雄ヒグマの体長はおよそ1.6m、体重は90kgであった。6月10日、立命館慶祥中・高校付近の市道で目撃されて以来、3ヶ月間弱、北海道情報大学と酪農学園大学のキャンパスにまで出没し、隣接する農家の野菜、果物を採食しながら森林内を移動した。なお、9月13日(金)、DNA検査から同⁷個体であることが確認された。



ふれあい交流館玄関前で打ち合わせ

⑧ 第4回下草刈り

9月9日(月)、例会前に予定していた下草刈り作業は今回も石狩森林管理署から入林許可が得られず中止した。



ヒグマ出没情報が滴杯のふれあい交流館掲示板

⑨ 植樹状況の確認

9月17日午前、ヒグマ出没注意が解除されたので、会員2名は「のぼぼの森」の状況確認を行った。敷地内は相変わらずセイタカアワダチソウ、エゾノコンギク、コメギヤなどの雑草で覆われていた。その中で、アケボノソウが11株みられ、大感激であった。



雑草はわが物顔で繁茂している



優美なアケボノソウ

⑩ 倒伏トドマツ移動作業

10月7日(月)午前、倒伏トドマツを宮崎会員がチェーンソーで切断し、細断した幹と枝は倒木の根元に置いた。途中、降雨・低温の中で、腰痛を押して作業された宮崎会員をはじめ、最後まで懸命に取り組まれた出席会員に感謝いたします。



チェーンソーでトドマツを切断



細断された幹と枝を倒木根元に運ぶ



終わったあ！ 疲れた！ やれやれ！



実を付けているサルメンエビネ

4) 市民との交流イベント

① 春の森一周ウォーキング

5月12日(日)、朝の気温は4℃でしたが、好天に恵まれた(正午過ぎには12℃まで上昇)。今回は20名の市民が参加し、ゆったりと気持ちよく、春の息吹満杯の森

の木々、野鳥、草花などを楽しみながらウォーキングすることができた。会員は6名。受付終了後の午前9時、尾崎代表の開催挨拶、吉田会員のウォーキングコース説明と準備体操などがあり、大沢口から元気よく出発した。参加者の一人、4歳の幼児が一生懸命歩く姿はとても微笑ましかった。また、参加者とは会話を楽しみながら和気藪々、PM13:30頃全員無事にゴールした。完歩証はとても好評であった。

人命担当相馬会員の所感

9時出発 13時30分 帰る予定

参加者20名会員6名計26名

桂コースを行くことに。エンレイソウやミヤマエンレイソウやオオバナノエンレイソウ(8種)やフクジュソウ、ナニワズなど見ながら歩いて行く。そしてニリンソウ、ミドリニリンソウを見て、大沢園地で10分休む。四季美コースではミズバショウやヤチプキ(エゾノリュウキンカ)、エゾエンゴサク、ヒトリシズカなど、そして志文別線に入る。志文別線ではツバメオモトやネコノメソウ、クルマバソウを見て、カラマツコースに原の池で、カモのつがいを見て翌満別園地につく。登満別園地で30分(昼食)。昼からモミジコース、エゾマツコースの倒木のため立入禁止で基線を通って中央線に行く途中で、クリの巨木の前を通って中央線に途中で見た花々を堪能して、またザゼンソウ、ヒメイチゲ、フタリシズカなど見て大沢口に。大沢口 13時25分到着。完歩証を渡す



尾崎代表挨拶



コース途中、相馬会員が参加者に説明



参加者に完歩証を手渡す吉田会員

② 秋の森一周ウォーキング

10月12日(木)、伊豆半島に上陸して首都圏から東北に北上した大型台風19号は我が国に甚大な被害をもたらした。

13日(日)、幸いその台風の影響はなかったが、気温7℃に肌寒さを感じた。午前10時頃から日差しがあり、ウォーキングには好条件となった。

受付開始時刻8:30から15分過ぎても市民参加者の姿は見当たらず、会員5名は「もしまし！」と心配したが、その後10名がやって来た(1名は途中参加)。今回は少人数の参加であったが、相馬会員の野生草花、樹木の説明を熱心に聞き入りながら、ウォーキングを楽しんだ。桂コースでは、ヤマガラがやって来て、エサ食べた

いポーズを楽しませた。午後1時過ぎ、大沢口に戻った参加者は吉田会員から参加賞が手渡され、無事帰路に着いた。

特命担当吉田会員の所感

10月13日(日)に野幌森クラブ主催の「秋の森一周ウォーキング」が開催されました。昨年は台風被害のため、野幌森林公園内は立ち入りが禁止され、毎年恒例の秋の行事は中止になりました。今年は春に引き続いて開催できました。参加人数はクラブ会員を含め15名でした。前日の天気予報は台風の影響による悪天候でしたが、朝から空模様は回復し、後半は陽が差すラッキーなウォーキング日和になりました。午前9時30分到大沢口から出発、まもなくヤマガラが現れました。人に慣れているのか、しばらく付き合ってくれました。

当初、春と同じコースを予定していましたが、ヒグマの出没でカラムツコースに草木が生い茂り、ウォーキングに支障があるため、このルートは回避して登満別園地まで進みました。11時40分前には登満別園地に到着しました。ここで、昼の休憩と食事を取りました。皆さん、思い思いの食事を持参され、楽しい昼食タイムでした。昼食休憩をはさんで、午後は中央線を経由して、午後1時過ぎに出発地点の大沢口に無事戻りました。全行程約10kmでした。途中、森クラブ会員から、参加されている方々はいろいろな説明を聞き、また和やかな会話を交わしました。多数のご参加ありがとうございました。また、次年度もよろしくお願ひします。



出発前に全員で準備体操



相馬会員の説明に耳を傾ける参加者



参加者にエサをねだるヤマガラ



花卉が反転しているエゾアジサイ

③ 2019年度きたネット通常総会・発表会 本クラブ活動概要紹介

6月22日(土)、札幌エルプラザで開催された2019年度NPO法人北海道市民環境ネットワーク(きたネット)の通常総会・発表会において、尾崎代表は10分間、本クラブのこれまでの活動概要を紹介し、またISBN登録の必要性を説明した。代表は本クラブ活動理念を強調され、また活動の場である森林公園の位置、地形、面積の変遷などから順序立てて、平易・簡明に話を進めた。さらに、現在、他団体の森林再生プロジェクトに参加して、育苗畑の開墾、種子採集、播種、育苗、植樹・補植、下草刈り、樹高測定などを精力的に行なっていると述べた(きたネット総会

報告書に稿掲載)。なお、総会・活動報告会には小山内会員も出席した。



スライドで本クラブの活動経過と現況を紹介する尾崎代表

④ 2018年度活動報告会・公開セミナー

標記セミナーはふれあい交流館レクチャールームでPM11:00から行われ、20名が出席した。山本会員が進行を担当し、最初に広報担当澤向が本年度の活動概況を報告した。セミナーでは、ふれあいセンター大野浩司自然再生指導官が野幌自然環境モニタリング調査状況と2018年9月5日に来襲した台風21号風倒被害の実態をスライドを用いて具体的に紹介した。

今回の台風がもたらした野幌森林公園の倒木被害は75haに及び(含む北広島市)、9%の人工林がなぎ倒された。面積0.1ha未満の倒伏は放置し、それ以上は植栽、再生作業を行うであろう。また、2019年度に被害実測調査、2020年度に予算付け、2011年4月以降に具体的な植栽活動が始まるであろうという見通しが示された。大野指導官からの話題提供後に会場で活発な討論がなされ、PM13:30に終了した。なお、「のぼぼの森」活動は現行協定契約期間であるため、来年度も継続されます。



大野浩司自然再生指導官の具体的な力：説明を傾聴する参加者

5) 2019年度活動報告書編集会談

① 第1回編集会談

11月例会に引き続き、本年度第1回編集会議を行なった。広報担当澤向は活動報告書作成に関する準備の行程を説明し、次回の会議に原案を提示することとした。

② 第2回編集会議

12月例会に引き続き、本年度第2回編集会議を行なった。事前に広報担当澤向が提示した報告書(案)を協議した。指摘された欠落文意、誤入力箇所、必要写真等を次回の会議までに追加することにした。



12月例会に引き続き第2回活動報告書先週会議を行った

③ 第3回編集会議

2020年1月例会に引き続き、本年度第3回編集会議を行なった。今回もいくつかの追加・修正箇所の指摘があり、澤向が再度整理するにした。



1月例会に引き続き第3回活動報告書先週会議を行った

④ 第4回編集会議

2月例会前に最終校正を行なった。製本は宇尾（正）庶務担当と澤向広報担当が20部印刷し、総会時に出席会員に手渡す。

6) 忘年会

12月2日（月）、午後5時から居酒屋山の猿で会員9名が出席して2019年の忘年会を行った。



和気あいあい、とても楽しい2時間でした

Ⅲ. エコアップだより 例会議事録)

1. 3月例会議事録

暉

3月10日(日) 11:35 12:15 ふれあい交流館レクチャールーム
出席者8名:宇尾(正)、宇尾(由)、小山内、尾崎、澤向、相馬、宮崎
吉田 オブザーバー :なし (あいうえお順、敬称略)

3月例会前10:45から2018年度の総会を行い(出席9名成立)、代表の開会挨拶(倉む林野庁長官賞受賞ほか4項目)に続き、大槻会員を議長に選出、宇尾(由)会計担当から本年度の会計決算報告と来年度会計予算(案)、宮崎会員から本年度会計監査報告があり、すべて承認された。次に2019度から2年間の世話人が審議され、庶務は宇尾(正)会員、森(周)ウオーキング担当に吉田会員を加え、それ以外は継続、また蒼樹大学および江別市との連携を宮崎会員が担当することを了承した。尾崎代表から今後2年間の活動方針と活動スクイルを含む閉会挨拶があり、11:35に無事終了した。

I. 協議内容

1. 報告事項

- 1) 札幌エルプラザ2Fの展示は見物者から良好なコメントがあり、展示物を撮影する市民も見られた。コーナー担当者からは再度の展示を依頼された。
- 2) 「のぼぼの森J」の倒伏トドマツの処理に関してはふれセン大野再生指導官が雪融け後に状況確認を行ったのちに何らかの連絡がある。
- 3) 2月15日(金)の2018年度ふれセン連絡協議会に尾崎代表と相馬会員が出席した。再生プロジェクトには当初加入12団体、現在は6団体である(出席3団体)。ふれセンから再生レベルは5段階の2段階に達しているとの報告があった。

2. 已院事項

- 1) 2月エコアップだより 修正:出席者宮崎会員は削除する
- 2) 本クラブの資産および備品の保管先は尾崎代表から提示された表のとおりとする。
- 3) これまでの「のぼぼの森J」活動は記録取りまとめに向けて準備を進める。

II. その他

1. 本年度の打ち上げ会は3月27日(水)PM5:00から新札幌つば八で行う(会費3,000円)。担当:宇尾(正)会員
2. 4月例会は4月22日(月)とし、「のぼぼの森J」で越冬被害調査、樹種調査・樹高測定終了後、ふれあい交流館前で行う。

『2018年度公開セミナー』

標記セミナーはPM1:00から行われ、広報担当澤向が本年度の活動概況を報告したのち、ふれセン大野浩司自然再生指導官が野幌自然環境モニタリング調査状況と2018年9月5日の台風21号風倒被害の実態が具体的に紹介された(出席者:20名、司会:山本会員)。話題提供後に活発な討論があり、PM3:30に終了した。

4月例会は4月22日(月)です。9:00*釈口に集合してください。

2. 4月例会議事録

4月例会 4月22日(月) 11:35~12:00

「のぼぼの森」

出席者7名：宇尾(正)、宇尾(由)、尾崎、澤向、相馬、中村、吉田

オブザーバー：なし (あいうえお順、敬称略)

4月例会前9:20から会員8名が参加して「のぼぼの森」南側の樹高測定と樹木越冬被害調査を行なった。開始前に山本特命担当から作業手順の説明があった後、3班に分かれて11:20まで、箱尺を使い、また一部は目測で実施した。越冬被害は野ウサギによる食害、雪圧による幹折れ・枝折れ、枯死などが多数見られ、樹木番号落下も散見された。樹木の成長を示すタイトな番号テープがあった。なお、今回測定できなかった南側と北側の樹木は次回の例会前に行う。

I. 協議内容

1. 報告事項

- 1) 「のぼぼの森」の倒伏トドマツの処理に関しては、未だふれセン大野自然再生指導官から連絡なし。巻き添え樹木あり。
- 2) 昨年度活動報告書は会員、関係先に郵送した(江別市情報図書館宮崎会員手渡し)。
- 3) 尾崎代表は札幌エルプラザの登録更新を行った。
- 4) 尾崎代表はふれセン大野指導官と岡本署長に公開セミナー講師のお礼を行った。
- 5) 尾崎代表は「森と緑の会」に助成金の支出報告とお礼を行った。
- 6) ふれセンから森づくり塾参加の案内があった(担当山本氏)。本クラブは種子採集不参加。個人参加は可能である。

2. 協議事項

- 1) 3月エコアップ日より 修正：なし
- 2) 春の森一周ウォーキング 協力：ふれあい交流館
- ① 5月12日(日) 開始時刻9:00、終了時刻13:00(予定)、受付時刻8:30
- ② 参加会員集合時間8:15
- ③ コース担当 先頭：相馬、吉田 中位：宇尾(正)、宇尾(由) 後尾：澤向
救護担当 尾崎代表
- ④ ウォーキングコース 桂 - 四季美 - 志文別線 - 中央線
- ⑤ 完歩証作成は吉田会員に一任する。当日配布のマップ30部は交流館からいただく。
- ⑥ 広報担当は6情報発信媒体機関・新聞社に開催案内の掲載を依頼する。

II. その他

- 1) 今後、澤向が管理する本クラブ備品の確認と引き渡しは例会終了後に尾崎代表、宇尾(正)庶務担当の3名で行う。
- 2) 5月例会は5月7日(火)とし、「のぼぼの森」で今回に引き続き樹高測定と越冬被害調査を行う。

5月例会は5月7日(火)です。9:00大沢口に集合してください。

3. 5月例会議事録

匹

5月7日(火) 12:20-12:55

ふれあい交流館レクチャールーム

出席者5名：宇尾（正）、宇尾（由）、尾崎、櫛向、相馬

オブザーバー：なし（あいうえお順、敬称略）

今回も5月例会前9:20から会員7名が参加して「のぼぼの森」の樹高測定と樹木越冬被害調査を行なった。作業手順は前回と同様で、3班に分かれて南側と北側を同時に測定・調査した。本日、午前7時前までの降雨で地面はぬかるみ、また作業途中、雨がポツポツ降ってきたが、中断することなく11:40まで行った。越冬被害は前回と同じく多数見られた。その中で、エゾシカとエゾタヌキの糞が見つかり、今後これらが生活圏の一部として侵入すると思われる。なお、クマゲラの姿は見えないが、独特のかん浪い鳴き声に癒された。

I. 協離内容

L 報告事項

- 1) 石狩営林署木村氏およびふれセン大野氏から「のぼぼの森」に倒伏しているトドマツの処理は行わないとの回答が尾崎代表にあった。
- 2) 広報担当櫛向は新年度の会員名簿(2019.4.22現在)を出席会員に配布した。

2. 協議事項

- 1) 3月エコアップ日より 修正：下から5行目、3行目 5月7日「水L→」ムL
- 2) 春の森一周ウォーキング 5月12日(日)
 - ① 当日の完歩証とコース地図は吉田会員がそれぞれ30枚準備する。
 - ② 出発前の準備体操とウォーキングコース説明は吉田会員が行う。
 - ③ コース進行の担当会員に変更なし。
- 3) 今回、「のぼぼの森」で測定と被害確認を終えていない樹木は5月9日(木) 9:00から参加可能会員が行う。記録用紙は山本会員から櫛向宛てメール添付送信する。調査結果記載用紙は6月例会の際、櫛向が山本会員に渡す。

II. その他

- 1) 現在、会員勧誘は手応えなし。
- 2) 6月例会は6月17日(月)とし、その前に「のぼぼの森」で下草刈り作業を行う。尾崎代表がふれあいセンターから中鎌6本を借用する。

6月例会は旦旦げ旦 (月) です。 9:00大沢口に集合してください。

4. 6月例会議事録

6月例会 6月17日(月) 9:10~9:50

ふれあい交流館玄関前

出席者5名：宇尾(正)、宇尾(由)、尾崎、澤向、相馬

オブザーバー：なし (あいいうえお順、敬称略)

今月13日午後、野幌森林公園と隣接する北海道情報大学キャンパスにエゾヒグマが出没したとの報道以降、いくつかの目撃情報があり、今回は入林の注意喚起に応じて、「のぼぼの森」下草刈り作業を取り止めた。なお、突如NHK千歳支局職員から、例会を撮影したいとの願いがあったので、これに応じた。

I. 協議内容

1. 報告事項

- 1) 今月22日(土)に開催される2019年度「きたネット」通常総会では、尾崎代表が10分間、本クラブの活動を紹介する。
- 2) 5月9日(木)、9:20から会員4名が2日前の作業で残した南側98本と北側208本の樹高測定と越冬被害調査を行い、11:20に支障なく終えた。今回も野生動物による食害木が多数見られた。特に、エゾシカに樹皮を剥ぎ取られた若ハルニレの姿が痛ましかった。

2. 協議事項

- 1) 5月エコアップ日より 修正なし
- 2) 春の森一周ウォーキングの反省 5月12日(日)
宇尾(正)会員が提示した市民参加者名簿に基づいて協議した。
 - ① 市民参加者数20名 そのうち初参加者数が15名(75%)であった(本クラブ参加者数6名)。
 - ② 参加者は和気あいあい、ウォーキングと野生草花を楽しんだ。
 - ③ 完歩証はきわめて好評であった。
 - ④ 今後、参加者にはマダニの付着(吸血)防止を説明したい。
 - ⑤ ウォーキング終了後に引率会員は短時間ミーティングを行う。

II. その他

7月例会は7月16日(火)を予定する。当日、入林が可能な場合、「のぼぼの森」で下草刈り作業を行う。

7月例会は7月16日(火)です。9:00 大沢口に集合してください。

5. 7月例会翠市岱:

臣声

7月16日(火) 9:05-10:05

ふれあい交流館レクチャールーム

出席者6名;宇尾(正)、宇尾(由)、尾崎、澤向、相馬、宮崎
オブザーバー:なし (あいうえお順、敬称略)

今回もヒグマ出没が解消されていないため、石狩森林管理局から入林許可が得られず、「のぼぼの森」の下草刈り作業は中止せざるを得なかった。雑草繁茂による幼若木の生育が懸念される。

1. 協議内容

1. 報告事項

- 1) 6月22日(土)に開催された2019年度NPO法人北海道市民環境ネットワーク(きたネット)の通常総会・発表会に尾崎代表と小山内会員が出席した。尾崎代表は10分間、本クラブのこれまでの活動概要を紹介した。また、ISBN登録の必要性を説明し、あわせて本クラブへの人的な支援をお願いした。その他、しっちネット、ヒグマの会、UW クリーンレイク洞爺湖が話題提供を行なった。
- 2)元酪農学園大学宮木教授から第2苗畑の苗木を再度譲渡願いと連絡があった。ふれあい推進センターは話を進めてくださいということであり、具体的な取り進めはヒグマ出没の件が解決後に行いたいと伝えた。

2. 協議事項

- 1) 6月エコアップだより 修正なし
- 2)秋の森一周ウォーキング
次回の例会で、具体的な協議を行う。
- 3)第1苗畑の柵木および標示板の撤去
 - ① 先日、ふれあい交流館から口頭で柵木および標示板は除雪作業に支障をきたすので撤去願いたいとの連絡があった。
 - ② 尾崎代表がふれあい交流館にこれは正式な要請であるかを確認する。
 - ③ 正式要請であるならば、標示板は「のぼぼの森」に移動する。柵木は第1苗畑の後方に移動してよいか伺う。あるいは国有地のいずこかに移動するか。その際、宮崎会員には軽トラックとアルミ製スライド板の提供をお願いしたい。作業はヒグマ騒動解消後に行う。
 - ④ 明年度、北海道森林管理局の野幌森林再生プロジェクト計画公表を提案したい。

II. その他

1. 5月9日に行った「のぼぼの森」の樹高と冬期被害調査表を山本会員に郵送する。
2. 8月例会は8月26日(月)を予定する。当日、入林が可能な場合、「のぼぼの森」で下草刈り作業を行う。ふれセンから中鎌を借用する。宮崎会員はチェーンソーを持参する。

8月例会は8月26日(1日)、です。9:00大沢口に集合してください。

6. 8月例会議事録

8月例会

8月26日(月) 9:10~10:10

ふれあい交流館玄関前

出席者6名：宇尾(正)、宇尾(由)、尾崎、澤向、相馬、吉田

オブザーバー：なし (あいうえお順、敬称略)

今月22日(木)、石狩森林管理局森林官の入林許可が得られず、「のぼぼの森」の下草刈り作業は今回も中止した。なお、本日午前6時20分頃にも、江別市西野幌の森林公園に隣接する牧草地でヒグマの足跡が目撃されている(江別市クマに関する情報)。

I. 協議内容

1. 報告事項

- 1) 第1苗畑の柾木および標示板の撤去に関し、7月16日(火)、尾崎代表が松井ふれあい交流館長に質問した。松井館長から、もう不使用なら整理したいという返答があった。なお、柾木および標示板の撤去は本館が行ってもよいので、決まり次第連絡願いたいということである。
- 2) 尾崎代表から「北ネット」に展示されているさまざまな団体のパンフレットが紹介された。

2. 協議事項

- 1) 7月エコアップ日より 修正：8月例会は8月26日(火)を予定→(月)
- 2) 秋の森一周ウォーキング
開催するか否かは次回の例会で最終判断することにした。
- 3) 「のぼぼの森」の第1回樹高・樹種調査は10月下旬を予定する。
- 4) 第1苗畑の柾木および標示板の撤去
 - ① 柾木の撤去は交流館に一任したい。
 - ② 標示板は第2苗畑に移動する。その際、宮崎会員に軽トラックとアルミ製スライド板の提供をお願いする。
- 5) 本年度は「北ネット」の森づくり助成金申請は行わない。

II. その他

1. 宇尾(由) 会計担当は今年度「北ネット」会費を振り込む。
2. 9月例会は9月9日(月)を予定する。ふれセンから中鎌が借用できたなら「のぼぼの森」で下草刈り作業を行う。宮崎会員はチェーンソーと草刈機を持参願いたい。

9月例会は9月9日(月)です。9:00 大沢口に集合してください。

7. 9月例会議事録

” 9月9日（月）

9 :00 10 :00

ふれあい交流館玄関前

出席者5名：宇尾（正）、宇尾（由）、尾崎、澤向、相馬

オブザーバー：なし（あいうえお類、敬称略）

9月例会前に予定していた「のぼぼの森」の下草刈り作業は今回も石狩森林管理署から入林許可が得られず中止した。なお、6月10日から出沒していたヒグマは今日5日正午、北広島が設置した捕獲用箱わなに入り（同一個体と判断）、直ちに射殺された。

]. 協議内容

1. 報告事項

9月6日（金）午前10時、尾崎代表、宇尾（正）会員および澤向は交流館松井氏と面談し、第1苗畑柵木および標示板の撤去について協議した。その結果、柵木の処理は交流館に委任する。また、標示板は9月例会で最終判断したのち、交流館に連絡することとした。

2. 巴~~り~~町項

1) 8月エコアップだより 修正：なし

2) 秋の森一周ウォーキング

① 10月13日（日）受付8, 30から 参加会員は8 : 15に集合する。

9 :00代表挨拶 ストレッチ体操後に出発 10kmコース

② 先頭：相馬、吉田 中位：宇尾（正）、宇尾（由） 後尾：澤向救護車：尾踏

③ 完歩証作成は吉田会員にお願いする。

④ 澤向は6情報媒体にウォーキング案内の掲載依頼を行う。

3) 「のぼぼの森」の第1回樹高・樹種調査

① 10月7日（月）例会前を予定する。

② 山本会員は測定記録紙を準備する。

③ 本クラブ所有の手鎌を持って行く。

④ 特命担当に宇尾（正）を加える。

4) 第1苗畑の標示板

10月例会前、第2苗畑に運搬する（設置：作業道具保管小屋跡側）。その際、宮崎会員には軽トラック、アルミ製スライド板、ロープなどの提供をお願いする。

3. その他

① 10月例会は10月7日（月）を予定する。

② 来年3月の公開セミナー講師として、尾崎代表が「ヒグマの会」に打診する。

10月例会は拉且 1 且ふ且L です。9 :00 * 釈口に集合してください。

8. 10月例会議事録

10月例会 10月7日(月) 11:55~12:00

ふれあい交流館玄関横

出席者5名：宇尾(由)、澤向、相馬、宮崎、山本

オブザーバー：なし (あいいうえお順、敬称略)

10月例会前に出席会員5名は第1苗畑の標示木をふれあいセンターから指示された第2苗畑の隣接空き地に宮崎会員の軽トラックで搬出した。その後、「のぼぼの森」に移動して、倒伏トドマツを宮崎会員がチェーンソーで切断し、細断した幹と枝は敷地外に集積した。途中、降雨があり、また時間的な制約から、今回予定していた樹高・樹種調査は実施しなかった。

宮崎会員には軽トラック、アルミ製スライド板、ロープ、ポールなどの提供をいただき、作業がスムーズに行われました。ありがとうございました。また、肌寒い中で、腰痛を押して作業された宮崎会員をはじめ、最後まで懸命に取り組まれた出席会員に感謝いたします。第1苗畑の大きなスズメバチ、第2苗畑の鬱蒼とした雑草、そして「のぼぼの森」のユキムシ、初観察されたサルメンエビネなど、いずれも印象的なシーンでした。

I. 報告事項

尾崎代表と澤向会員は9月20日(金)午後3時、石狩地域森林ふれあい推進センターを訪れ、第1苗畑の標示木移動について協議した。9月26日(木)、ふれセンから尾崎代表に第2苗畑近接空き地への移動を認める旨の回答があった。

また、「のぼぼの森」の倒伏トドマツの撤去についても話し合いを行った。

II. 協議内容

1. 11月例会の日程は秋の森一周ウォーキング(10月13日)終了後に協議する。不参加会員には日時が決まり次第連絡する。
2. 秋の森一周ウォーキングの参加会員の分担は決定どおりとし、コース変更は出発前に担当者が案内する。

III. その他

11月例会の日時は未定である。

9. 11月例会鑑亭録

111月例剣11月12日（火） 10：00 11：00 ふれあい交流館レクチャールーム

出席者5名：宇尾（正）、宇尾（由）、尾崎、澤向、相馬
オブザーバーなし（あいうえお順、敬称略）

冒頭、尾崎代表から体調不良のため、しばらくの間、本クラブ活動に参加できなかったが、第1苗畑の標示木移動、「のぼりの森」の倒伏トドマツの枝等の処理、秋の森一周ウォーキングなどが予定どおり行われたことに感謝の意があった。

1. 報告事項

尾崎代表から、12月1日（日）10：00 17：30、札幌エルプラザ2F環境研修室で「人と野生生物の距離」に関するきたネットフォーラム2019が開催される旨の紹介があった。本会員は参加費1,000円である。

II. 協議内容

1. 秋の森一周ウォーキング（10月13日）の反省

- 1) 一般市民10名、会員5名が参加した。開催案内はまんまる新聞に掲載されたが、残念ながら北海道新聞は取り扱わなかった。
- 2) 事前の傷害保険を掛け忘れたので、今回は自由意志参加とし、参加者名簿は作成しなかった。
- 3) 救護車は宇尾（正）会員と宇尾（由）会員が担当した。
- 4) 今回も完歩証は好評であった。次回から野生草花名を記入したい。

2. 今年度の活動報告会と公開セミナー

- 1) 2020年3月15日（日）にふれあい交流館レクチャールームで行う（仮予約済）。
- 2) 当日のスケジュールは例年どおりとする。
- 3) ふれあい交流館に後援をお願いする。今月中に正式返答をいただく。
- 4) セミナーの話題提供者については、尾崎代表がヒグマの会事務局と折衝している。持続する共生の森の観点から、都市近郊に生息するヒグマの位置づけを講演していただければ・・・。

3. 今年度活動報告書の作成準備

- 1) 広報担当澤向が目次（案）を提示した。
- 2) 森一周ウォーキング参加会員には一言感想記事を執筆願いたい。
- 3) 確認事項 山本会員；2018年度植樹木の越冬被害調査表および樹種・樹高調査表（エクセル、A4）作成、宮崎・吉田会員；3月10日公開セミナーの写真撮影、8月9月例会の写真撮影は、尾崎代表；きたネット通常総会本クラブ紹介の写真
- 4) 原稿締め切りは1月例会までとしたい。

頂. その他

1. 12月例会は12月2日（月）午袴3時30分から札幌エルプラザ2階ミーティングルームで行う。
2. 忘芽会は同日午格5時からさっぽろ地下街居酒屋で行う。相馬会員が担当する。

10. 12月例会議事録

12月例会 12月2日(月) 15:35~16:45

札幌エルプラザ2Fロビー

出席者9名: 宇尾(正)、宇尾(由)、小山内、尾崎
澤向、相馬、宮崎、山本、吉田

オブザーバー: なし (あいいうえお順、敬称略)

例会は予約していたミーティングルームに8名分の椅子しかなく、やむなくロビーに移動して行なった。

I. 報告事項

1. 尾崎代表は5. 北ネット総会・発表会

6. 野幌森林再生活動連絡会

2. 尾崎代表から12月7日(土)、札幌エルプラザ2F環境研修室で行われる第6回バードレクチャー「野鳥図鑑100%活用術」の案内があった(参加費一般800円)。

II. 協議内容

1. 11月エコアップだより修正 倒伏トドマツの撤去 → トドマツの枝等の処理

2. 2019年度活動反省

尾崎代表から提示された資料に基づいて協議した。

① 山本会員から4月22日および5月9日に行った「のぼぼの森」の樹種・樹高調査集計表が配布された。山本会員には集計表に加えて、調査野帳およびグラフの作成をしていただきたい。なお、今年度の下草刈りおよび樹種・樹高調査はエゾヒグマ出没の影響で実施できなかった。来年度は測定不要な樹木を除いて実施する。

② 昨年度、ふれあい交流館と札幌エルプラザで本クラブ紹介の展示を行ったが、今年度は見送った。来年度は実施したい。宇尾(由)、宮崎および吉田会員に担当願う。

③ 森一周ウォーキングの完歩証は好評であった。次回からは植物名を記入する。

3. 2020年度活動計画

尾崎代表から提示された一次素案を了承した。

① ウォーキングの距離10kmについては臨機応変に判断する(延長、短縮)。

② 「のぼぼの森」東1号作業道は冬季間倒木運搬に使用されるため、両側の移植木に被害が及ぶ可能性あり。その修復のため、エゾエノキとクリを種から育てたい。

③ きたネットで「のぼぼの森」の下草刈り、樹種・樹高調査の参加案内を発信する。

III. 第2回今年度活動報告書編集委員会

1) 広報担当澤向が提示した修正目次(案)および報告内容を協議した。

2) 相馬会員から春の森一周ウォーキング感想原稿が提出された。なお、秋の記事は吉田会員に執筆願いたい。

3) 今年度報告書は25部(外部9、会員12、保存用4部)作成する。

IV. その他

1) 1月例会および第3回報告書編集委員会は1月21日(火)午前10時00分からふれあい交流館レクチャールームで行う。

2) 例会終了後、9名が居酒屋「山の猿」で忘年会を楽しんだ。担当された相馬会員に感謝します。

11. 1月例会議事録

1月21日(火) 10:10-11:40 ふれあい交流館レクチャールーム
出席者5名:宇尾(正)、宇尾(由)、尾崎、澤向、相馬
オブザーバーなし (あいうえお順 敬称略)

2020年、最初の例会、冒頭、尾崎代表から体調に留意して、お互いに楽しみながら活動に取り組みましようとの挨拶があった。

I. 報告事項

1. 2019年度は「のぼぼの森」を横断する東1号作業道からの倒木運搬は行われないと
の報告が尾崎代表からあった。
2. 「きたネット」事務局から本クラブにアンケート協力の依頼があったとの報告が尾崎代表からあった。各自が返信することにした。

II. 協議内容

1. 12月エコアップ日より修正 なし
2. 2019年度野幌森クラブ総会、3月例会、活動報告、公開セミナーの日程
尾崎代表から提示された3月15日(日)のプログラム(案)に基づいて協議した。
① 会員の集合時刻は12030、総会は12045から、終了後、引き続き3月例会を行う。
② 総会の承認、審議、報告事項は昨年度と同様であり、また進行担当者も同一とする、
③ 活動報告と公開セミナーの受付は14、15から行う。報告は澤向が14030から、
セミナーは15000から酪農学園大学佐藤喜和教授に話題提供していただく。
④ 受付、進行、写真撮影等の担当者は前年と同じとする。
3. 2019年度会計決算報告
宇尾(由) 会計担当から本年度の決算(案)および次年度予算(案)が提示された。
① 会計決算報告(案)は了承された、
② 2020年度予算(案)支出項目のうち、活動報告書作成と通信費は増額、講演謝礼金は5,000円(交通費)とすることで了承された。
③ 2020年度は森と緑の会に補助金申請を行わない。
④ 本年度の会計監査は2月例会終了後に行う。

m. 第3回2019年度活動報告書編集委員会 10:50-11:20

広報担当澤向が再提示した案の内容を協華した。

- ① 目次の2019年度活動報告会・公開セミナーは市民との交流イベントに移動する。
- ② 忘年会は6)とする。
- ③ 2019年3月のエコアップだよりを追加する。
- ④ 今回、指摘されたいくつかの追加・修正箇所を澤向が再度整理する。

IV. その他

- 1) 2019年度野幌森林再生活動連絡会には澤向、相馬が出席する(2/14)。
- 2) 令和元年森づくり活動報告会には相馬会員が参加する(2/26)。
- 3) 1月例会および第4回報告書編集委員会は2月24日(月)11時00分からふれあい交流館2階会議室で行います。ご出席願います。

12. 2月例会議事録

2月例会 2月24日(月) 10:10~10:50 ふれあい交流館レクチャールーム
出席者6名:宇尾(正)、宇尾(由)、尾崎、澤向
相馬、吉田
オブザーバー:なし (あいうえお順、敬称略)

2月例会開始前に本年度活動報告書の最終校正を行なった。広報および庶務担当者が20部を作成する。

I. 報告事項

1. 2019年度野幌森林再生活動連絡会

2月14日(金)、北海道森林管理局で行われた令和元年度野幌森林再生活動連絡会には澤向と相馬が出席した。参加5団体、2オブザーバーから活動報告があった。2018年9月5日の台風21号による風倒被害木の処理は本年3月末までに基線の南側、残りの北側は本年12月から着手し、2021年3月末までに終了予定である。その後再生ボランティアプロジェクトについて検討する

2. 2月26日(水)、定山溪中学校で開催予定の令和元年森づくり活動報告会は新型コロナウイルス感染の懸念があるため中止された(相馬会員参加予定)。

3. 本クラブ資産管理

宇尾(正)庶務担当から管理台帳が配布された。備品ノギスと手鑑数は再確認する。

II. 協議内容

1. 1月エコアップ日より 修正: 下から6行目 →「尾崎」は削除する。

2. 2019年度野幌森クラブ総会、3月例会、活動報告・公開セミナーの日程確認

1) 会員は12:30までに集合し、総会開始12:45までの間に必要な準備を行う。

2) 活動報告と公開セミナーの受付は相馬会員、写真撮影は宮崎会員、記録(記事)は吉田会員が担当する。

3) セミナー講師の車代は当日に手渡す。

4) 宇尾(正)庶務担当は借用機材・器具の確認を行う。

5) 北海道博物館は新型コロナウイルス感染症発生に鑑み、当面、主催行事を中止している。当日、ふれあい交流館閉鎖の事態があれば、今回予定の活動報告と公開セミナーは中止せざるを得ない。

3. 次回の例会で2019年度活動報告書配布先の確認を行う。

III. その他

1. 本年度の会計監査は延期し、あらためて会計担当と監査担当会員が日時を調整する。

2. 本年度の打ち上げ会は3月18日(水) 17:00から新札幌つぼ八で行う。

設定担当は今回も宇尾(正)にお願いします。会費3,000円

3. 2019年度総会、3月例会および活動報告と公開セミナーは3月15日(日)です。会員は12:30までにふれあい交流館に集合願います。

m. 添付資料

1. 野幌森クラブ会則

(名称) 第1条名称を、野幌森クラブとする。

(目的) 第2条 野幌森林公園の生態系と森を利用する人との持続的調和を目指し、両者の係り合いについて考えていくとともに、在来種の維持及び強化の活動を行うことを目的とする。

(活動) 第3条 前条の目的を達成するために、会員による次の活動を必要に応じて行う。

- (1) 生き物のための環境作り及び森の保全活動
- (2) 学習活動、講演会等による啓蒙活動
- (3) 広報活動
- (4) 生態観察・調査等の活動
- (5) その他の活動

なお、本活動は不特定多数の非会員の参加を募るイベントとして行う場合もある。

(会員) 第4条 会員は目的に賛同し、入会する人とし、年度末にその確認を行う。

(世話人) 第5条 会の運営に必要な次の世話人を置く。

- (1) 代表 (会の統括と外部への代表など) 1名
- (2) 広報 (報告書・エコアップ便りの作成、外部への啓蒙活動など)

1名

- (3) 庶務 (会内外への連絡、資産管理など) 1名
- (4) 会計 (予算・決算、現金出納管理など) 1名
- (5) 会計監査 (金銭収支監査など) 2名
- (6) 特命 (イベント、特定活動の担当など、必要に応じて) 若干名

2 世話人は総会出席者の過半数の賛同を得て総会にて選出、承認を得る。

3 世話人の任期は2年とし、再選は妨げない。

4 世話人の欠員の補充は必要に応じ世話人の総意によりその都度行う。

(機関) 第6条 このクラブの機関として、総会、例会を置く。

2 総会は、このクラブの最高機関とし、全会員を持って構成する。

3 総会は毎年3月に開催し、活動方針の確定、既年度活動結果・次年度活動計画、予算・決算の承認、管理資産の確認を行う。

4 総会の議決は出席者の過半数の賛同を得て行う。

5 例会は、世話人、会員を持って構成し、活動内容の具体化や会員間の情報交換、勉強会などの場として、代表世話人の呼びかけで開催する。

6 例会には、必要に応じ会員外のオブザーバーの参加を認める。

(会計) 第7条 このクラブは会費、募金、助成金、その他をもって運営する。

2 会費は年1000円とし、個人、家族、団体の別は設けない。

3 会員毎に異なるサービスの経費はその実費を必要に応じて徴収する。

4 会計年度は毎年3月の総会前日に始まり、翌年の総会前々日に終わる。

(附則) 第8条 この会則の改廃は、総会出席者の3分の2の賛成を得て決定する。

2 その他、必要な事項は内規で定める。

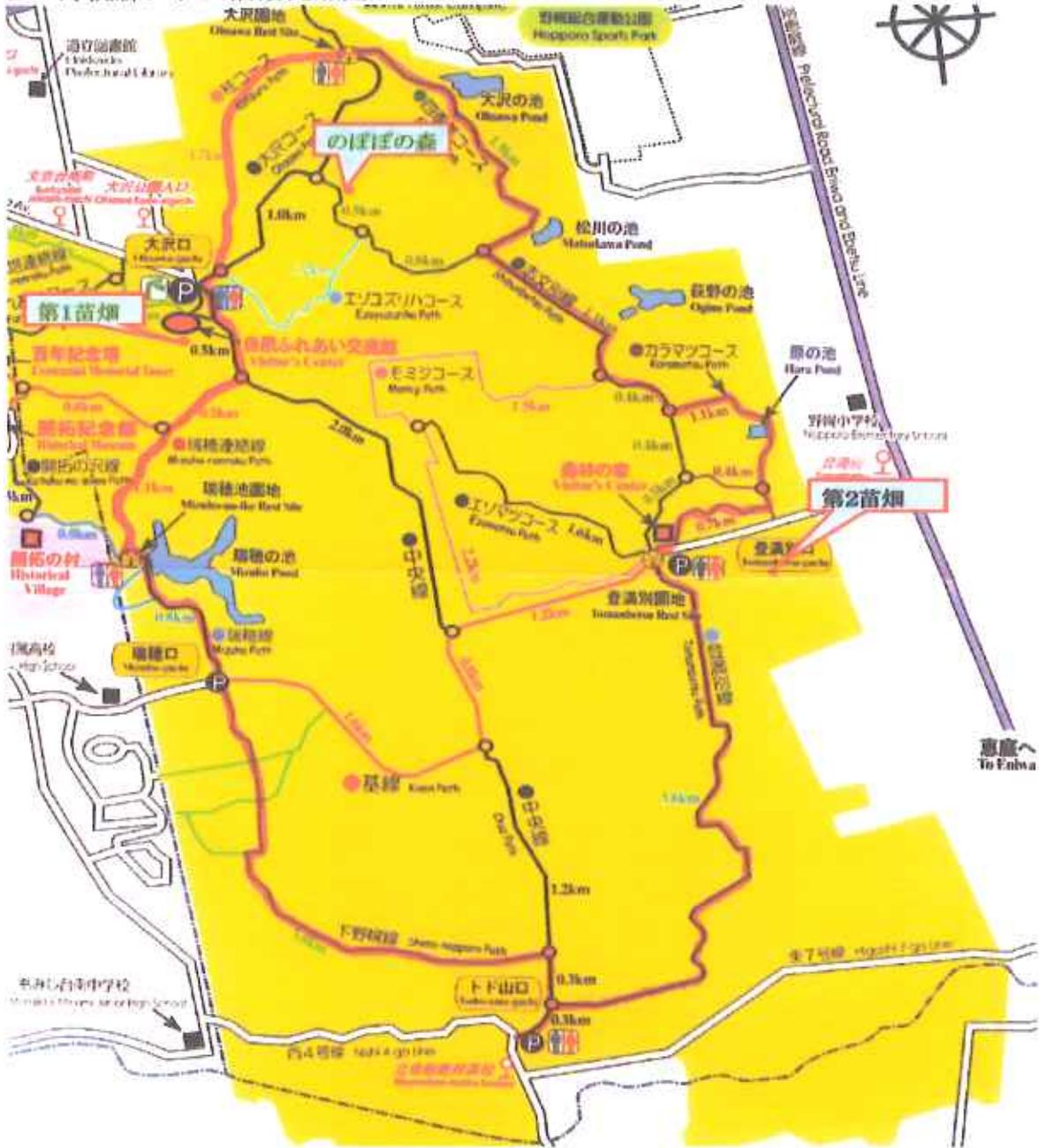
3 この会則は2012年3月19日より施行する。

内規

(2012年3月19日現在)

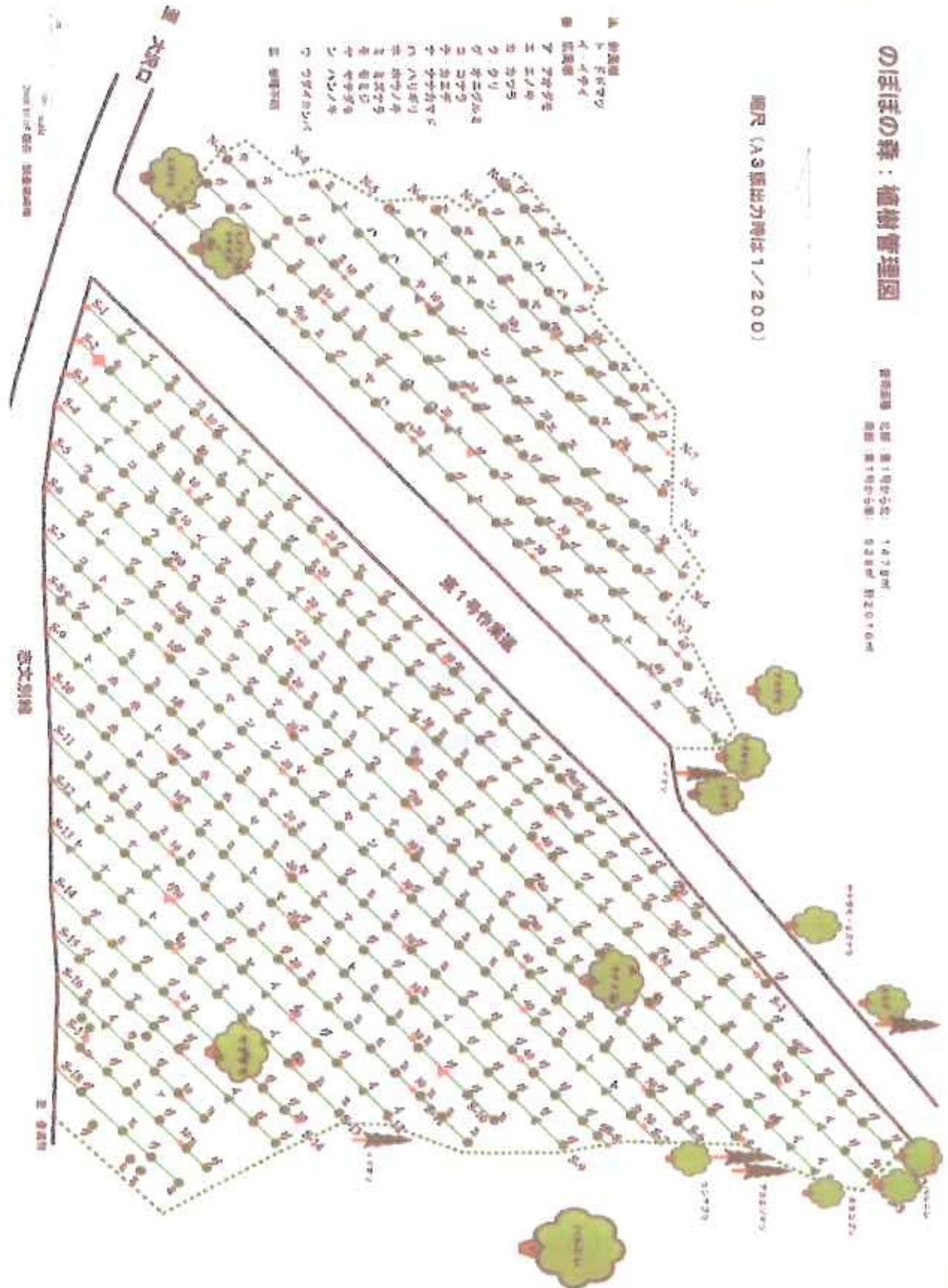
- 1 野幌森クラブの事務局は代表世話人宅に置く。
- 2 特命世話人。
 - 1) 一般公募のイベント担当（春・秋の森一周、下草刈、報告会、講演会）
 - 2) 特定活動の実施担当（第1苗畑、第2苗畑、「のぼぼの森」、オタマの池、蒼樹大学との連携）

2. 野幌森クラブ活動拠点図



3. 「のぼぼの森」植樹位置図

2005年（平成17年）植栽時の現況



表

4. 2020年度活動計画案 (表4)

表4. 2020年度活動計画案

		各種活動
4 月	下旬	4月例会 「のぼぼの森」の生育調査
5 月	上旬 日	5月例会 「のぼぼの森」樹種・樹高測定 森一周 10k m (一般公募)
6 月	下旬	6月例会 「のぼぼの森」下草刈り
7 月	中旬	7月例会 「のぼぼの森」除伐・枝払い
8 月	上旬	8月例会 「のぼぼの森」下草刈り
9 月	中旬	9月例会 「のぼぼの森」の樹種・樹高測定
10月	上旬 日	10月例会 「のぼぼの森」樹種・樹高測定 森一周 10k m (一般公募) クリの実拾い
11月	上旬	11月例会 プラザ展示作業 第1回報告用編集会議
12月	中旬	12月例会 第2回報告用編集会議 忘年会
1 月	中旬	1月例会 第3回報告用編集会議
2 月	中旬	2月例会 第4回報告用編集会議
3 月	日	総会・3月例会 活動報告と公開セミナー(一般公募)

1. 未確定の作業日は会員の参加状況と現地状況を勘案し、直近の例会で決定する。但し、作業開始時刻は9:00を原則とする。
2. 「のぼぼの森」の活動は例会に行うことを原則とする。
3. 「のぼぼの森」の活動は新規協定内容(2018年3月締結)に基づき2023年3月まで実施する。

特記事項

常に、会員は本クラブの広宣活動および加入促進活動を積極的に行う。

編集後記

執筆および活動参加者：14名

宇尾 正久 宇尾 由喜子 大槻 日出 尾崎 脩 小山内 道子 澤向 豊 相馬 満
高田 徹 東松 羊一 東松 紀子 中村 邦男 宮崎 廣夫 山本 謙也 吉田 純治

2018年度は台風21号被害で、「のぼの森」の樹種・樹高調査ができませんでした。また、2019年度は78年ぶりのヒグマ出没に活動計画の中断が余儀なくされました。2020年度は「二度あることは三度ある」にならないよう願っています。

さて、昨年11月から、今回で18回目の活動報告書作成に取り組みました。あれ！つい先日、報告書を仕上げ、ホッとしたいけれど、もう取りまとめる時期がやって来たのかと、月日の経過に思いを巡らしました。そこで、これは広報担当の仕事と自分に言い聞かせながら、報告書原案、修正案、そして成文の編集を行いました。

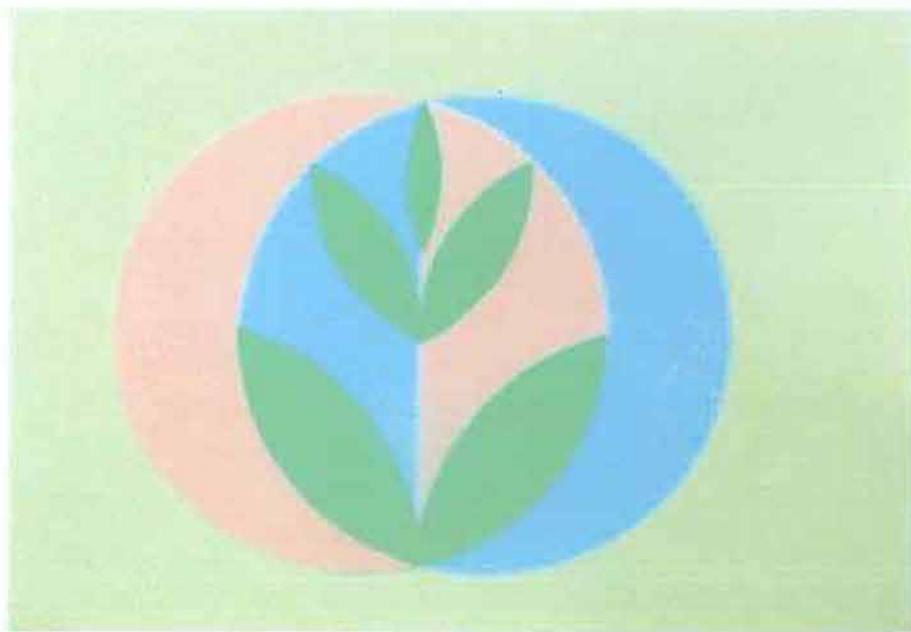
みなさん！！本クラブ活動のほか、他団体からさまざまな行事案内があります。けれど、私たちは一人ひとりの現況と能力に見合う活動をこれからも続けましょう。

追記

残念ながら、2020年3月15日（日）に野幌森林公園自然ふれあい交流館で開催を予定していた2019年度野幌森クラブの活動報告会と公開セミナーは中止することになりました。

今般の新型コロナウイルス陽性者数の増加に伴って、2月28日（金）から3月16日（月）まで全ての道立施設は休館になり、ふれあい交流館も同様の処置です。

今後、懸念されているクラスター感染から、更なるクラスター感染に拡大しないよう願っています。



野幌森クラブ